

2025年1月期 第3四半期ワンオンワンミーティング

主な質疑応答

(内容につきましては、ご理解いただきやすいよう部分的に加筆・修正しております。)

Q. お客様が、自社でエンジニアを採用せずに貴社からの派遣を受ける理由はなぜか。

A. 日本では1945年にオイルショックの大不況がありました。それまでの日本の雇用慣行は概ねプロパーのみで事業展開をしておりました。それ以降、景気の状態によって人財を流動的に活用するために自社社員だけでなく外部社員の活用を行うようになりました。結論的に申し上げますと、経営のリスクヘッジの課題に対して外部人財を積極的に活用しているという状況です。

Q. 過去3年間(2022年～2024年)のお客様の研究開発費が伸びている理由は。

A. 現在の日本の製造業を取り巻く環境は、自動車を中心とする事業展開となっています。また、自動車業界には「カーボンニュートラル」という中長期的大きなテーマがあるため、開発費が毎年増額しているという状況です。自動車業界が牽引する日本の産業について、自動車メーカーの開発スケジュールは2035年から2040年がターゲットになっています。従って、少なくとも2035年までは研究開発費が伸びると思います。また、当社におきましては、「カーボンニュートラル」プロジェクトに参画するために、必要な学生やキャリアの方を積極的に採用しています。

以上